

發行編輯人 川崎文治 福島縣石城郡平町長崎町廿五番地 發行所 常盤毎日新聞社

常盤毎日新聞

定部金貳拾五圓 廣告費五圓 印刷費五圓 郵税五圓 送料五圓 電話五圓 電報掛五圓 印刷部 印刷部 印刷部

刊夕日九十二月六

常盤文藝 諦め 清母

「諦めは悲しい寂しいけれど、誰か私の耳に囁く、ひるろ私一人悲しく淋しく其して静かに總べてを永久に諦めねば成らなかつたのだ、運命ゆゑに」

化粧用 化粧用 化粧用

ツルヤ 電話百四十

片寄産婆方 平町田町(電話三三三番) 東洋帝國醫科大學産婆復習科 卒業 鈴木エ

貸地 舊城跡本丸・二丸 賣地 五丁目表通り 加藤營業所 平白銀町電話三三番

家宅 白銀町金十圓 向勤 柳町金五圓半錢 向人 柳町金五圓半錢

西洋御料理 電話 出前は迅速 五四一話電・四平

小僧さん入用 喰べてたいしい 遠藤パン (有聲座)

ユ一ホン號 特價提供

正價 四十五圓 の特價 三萬

明治製菓會社 代理店 ヤトモ

常盤論壇

政友院外團の態度 三上正毅

政友院外團大會が協調の爲に黨是を任ぐるを許さずと議決し其代表演説者が、口を揃へて現内閣を攻撃せるため憲政會に於ては頗る神經を失らし之を以て、一種の挑戦と見做し覺悟する所ありと傳へらるゝが、そは大早計ではあるまいか、院外團と云へば、政黨の急先鋒で、幹部を鞭撻督勵するを以て自任して居る其言論態度が常に急進的傾向を帯ぶるは止むを得ない。しかし、黨内には左傾分子も

吉田眼科醫院

平町屋紺 電話 五五八番

吉田染屋工場 電話 五五八番

吉田染屋工場 電話 五五八番

吉田染屋工場 電話 五五八番

吉田染屋工場 電話 五五八番

萬幸瓦

萬年瓦工業株式會社 福島縣四會町 電話三八番

製造元 石城郡平窪村 電話二四一番

清酒 鶴仙 松吉屋本店

鐵道省 御指定 工業學校 試驗證明

あつて、比較的穩健の意見を有して居る。其中を執つて、進退を過らざるが幹部の責任と云ふものであらう。されば院外團の行動を以て直に黨の意見を代表するものと見なす譯には行かまい。しかし、吾人の現内閣が過去一年間に擧げたる成績の相當に偉大なものであることを承認するに躊躇しない。曲りなりに普通選挙は通過し、行財政の整理貴族院改革にも手を染むることができた。これは全く聯立内閣の賜であつて國民は此點で現内閣を謳歌する理由がある。しかし之を以て満足する譯には行かない。元來

邊渡藥局

品藥料染 劑調方處

目丁三町平 郎五政邊渡 (向局便郵)

邊渡藥局 電話 三三九番

霜降小倉 通學服

寸法各種 澤山取揃 磐城平 電話二〇三番

ふかや洋服店

電話二〇三番

鮮人坑夫が入り亂れて 格闘の末遂に流血の慘

血塗れの儘自動車で 平署に救援を求む

昨日午後一時頃石城郡湯本町入山第四坑々夫朝鮮人田中一郎事金鎮熙(三)は同坑夫平基俊(三)と些細の事から口論を始め果ては掴み合ひの喧嘩となつたが

此事を 聞きつけ

た金の子分廿數名が駆け付け手に一携物を揮つて平を取り圍み袋叩きと爲したる爲め平の同僚四名は加勢して金の子分と入り亂れて大格闘を演じたが多勢に無勢で如何とも爲し難く是れも散々に殴り付けられ

其場を 追ひまくり

れたる爲め折柄疾走し來つた平の乗合自動車に血みどろになつた平外四名が飛び乗り平署に至つて救援を求めし依り大槻部長以下警官數名直ちに現場に出張し金の子分を取り押へて嚴重取調べ中である

納税の成績は 意外に良好

選挙の爲めか

平町では本月末は限り大正十三年度町税全部の決算を爲すべく目下税務課で整理中であるがその成績は意外に良好で十二年に比し約三割の納税成績をあげて居るこれは納税組合の督勵が良好であり個人の責任感が強

水害の災へから 町民を救済せよ

平町が郡山に比して割合に發達しないといふことは從來水の悪い事水害の憂いある事の問題に歸着してゐるが先年莫大な費用を投じて完成した水道によつて本問題の前者は解決されたるも後者の問題解決せずこれ

町民が熱望 今秋平町に 自轉車競走

競馬に次ぐ人氣ある自轉車競走大會は平町において一昨年来社絶絶してゐたが最近同業者間に本年は是非平町に開催したいとの聲盛んになり従來の主催者間にあるりても種々協議中とのところ一部町民もこれが催しを熱望してゐるから或は本年の秋頃この平町において催されることであらう

桑園の改良が 刻下の急務

野村技師談

野村本郡農業技師の談に依ると「石城郡大浦村では種紙一枚から九貫百匁の收購をした人があつたが同人は二反歩の桑園を有して收購賣上總額が三百十八圓を得たと云ふことである、これは反當り百五十九圓になるから頗る良結果を得てゐる譯である、兎に角桑園の改良は何と云つても刻下の急務である」との事である



家庭欄

糠の使用法

漬物を漬けた後に糠が残りましたら飯櫃を洗ふとよいです。木の汚れもとれ

伏見町長出發 來月

新聞記者有志は小名濱及び江名、豊間方面に於ける漁況視察の爲め來月十二日樞

答案の數が 非常に多い

曩に本紙の宣傳懸賞を爲した活動常設有聲座にては更に映畫説明に當り某商店及び某寫眞館の名を入れ「ダレ辯士がドコの商店と寫眞館の名を云つたか」を懸賞にて募り便宜上其答案を本社宛に寄せしめて居るが頗る一般の興味を引き答案が非常な數に達して居る

在平記者視察 平町

新聞記者有志は小名濱及び江名、豊間方面に於ける漁況視察の爲め來月十二日樞金のタガが大變に美しくなり、艶も出て、きずも付かず、磨砂で洗ふよりも綺麗になります。また油物を入れた皿などを洗ふに湯で洗はなくてもきれいに油氣がとれ、くさみもなくなりま

産産でも 充分休めぬ

女教員の悲哀

石城郡役所學務課の調査によれば郡内各小學校女教員數は合計二百二十二人あるがこれ等女教員の十三年度中における出産者は二十一人で休養日數は産前二週間休養したものが六人、二週間で産後における休養期間六週間に九人、六週間に十人、六週間に以上三人といふ休養期をとつてゐるが斯うして見ると女教員は産前僅か十四五日、産後にも四十五七日間のみしか休養

連結手の怪我 平驛

勤務連結手江尻義元(三)

昨日午後十二時五十四分平驛構内裏三番線に於て貨車入替作業中貨車のパツファに觸れて右手より指先に大負傷を受け目下南町酒井病院にて治療中

九六の割合 生徒の出席率

平町各學校生徒児童出席歩

合率は平均一〇〇に對し九六の割合で弊城中學校の最近五ヶ年を示せば九二、九三、九四、九五、九六の割

川部村議當選 石城 郡川部村々會議員當選者左記の通り

- 四一澤村藤平、三五兒玉萬平、二八芳賀義虎、同
- 同芳賀唯一、二五兒玉太
- 久兵馬、同園部幹治、二
- 二村村良助、二一區部虎
- 三郎、二〇緑川小方、一
- 九蛭田勘四郎、同芳賀庄
- 藏、同小野善美之助、同
- 蛭田喜代松、一五高木寅
- 松

不平受付

●投票歡迎 ●オートの二人、オートバイに二人乗つて無間矢鱈に町中を走らせて居るも目撃しました、自轉車でさへ二人乗れば料金を取られるのにオートバイは差支へないのでせうか (不審生)

武藤英武氏逝く

石城郡四倉町元町長現磐城セメント會社監査役武藤英武氏は永らく病氣静養中のところ二十七日午後七時頃死去した二十九日午後二時自宅出棺同町海嶽寺において佛式を以て葬儀を営んだ因に生前の遺言に依り左記の如く寄附した由

赤堀氏歸京 彫刻家

赤堀新平氏が目下平町銀治町國府田直良氏方に滞在在中である事は既記の如くであるが秋の帝展に出品する製作準備の爲め明日歸京の豫定であつて郷里平町より是非十五六歳位年門弟を一名引連れたいと語つて居た

編輯便

◇門傳辯護士が遊びに來て談話が易い結果は易者の青山君を呼んでお互の運勢を見て貰ふ◇門傳君も僕も運勢は悪い方ではない◇事には悪い方の病氣はアブナイ時を越したから心配は御無用にとの判断◇道理で今日磐城病院で検尿した結果は「蛋白質を認めず」◇愈々病床を蹴つて起きる事の出来る日も遠くはあるまい◇ジツとして居らない様な氣持で体がムツムツする

常な差を生じ教授が困難

となり他の生徒の迷惑ともなるから目下之れが救済策を講じ中である」云々